

ライフラインを守り、50年

ACTIVE KUMIAI

甲府市管工事協同組合

甲府市管工事協同組合（山田新太郎理事長）は、平成24年8月をもって組合設立50周年を迎えた。甲府市は大正2（1913）年、全国で26番目に上水道の給水を直轄で運営開始、1日の最大給水量をそれまでの3倍に拡大する時期に併せて、昭和29年に上水道工事指定店制度を採用、民間業者に給水装置工事の資格を与えた。昭和36年、組合の母体となる「甲府市上水道工事指定店組合」が創立され、さらに翌年8月、現「甲府市管工事協同組合」が設立された。



甲府市総合防災訓練時の様子

現在の甲府市上水道は計画人口27万人を超え、最大給水量は約170,000立方メートル、1人1日600リットル以上の水を供給することができ、甲府市、甲斐市及び中央市の一部、昭和町などへの給水を賄っている。この市民のライフラインを確保維持するという重要な事業を陰で支えているのが、当組合であり組合員各社である。

組合は平成4年、甲府市上下水道局と「災害応急復旧工事等に関する業務協定書」を締結、平成7年1月に発生した阪神淡路大震災の水道設備修繕のために復旧工事支援隊を派遣、後の新潟県中越沖地震等の復旧工事・漏水調査などにも支援隊を派遣したほか、毎年行われる総合防災訓練に参加し、防災復旧工事訓練に積極的に取り組んでいる。また、水道水源地の清掃活動や甲府市内の福祉施設水道点検（簡易修繕）も行っている。さらに、平成13年には関東経済産業局より官公庁等が発注する工事を責任をもって履行できる体制と経営基盤が整備されている組合としての「官公需適格組合証明」を取得した。また、公道宅地内漏水修理、公設枿設置及び分水工事、漏水調査・修理など市民のライフラインを守るために24時間体制で対応する共同受注事業をはじめ非常に活発な事業活動を続けている。

近年では、将来の組合員のための組合事業拡大を目指して新たな事業の展開を模索するなど、次の50年に向かっての活動も始まっている。甲府市（水道）事業区域内（甲府市、甲斐市及び中央市の一部、昭和町など）を中心とした給排水設備に関するご相談は、甲府市管工事協同組合 TEL055・2228・8851まで。